

課題名	びわの樹形改造試験																																													
成果の要約	1段盃状形へ樹形改造することによって、作業能率は高くなる傾向が見られたが、結果枝数が少なく、収量は標準区の約60%と少なかった。																																													
成 績 概 要	<p>成木において樹高が低く、作業が容易な樹形への改造が可能かどうか検討した。</p> <p>(1) 収量は樹形改造区が標準区より少ない傾向がみられた。また、収量の伸び率は樹形改造区が標準区より低い傾向がみられた。</p> <p>(2) 収量の年次変化は、つねに樹形改造区が標準区より少なく有意差が認められた。</p> <p>(3) 果実の大きさは、樹形改造区と標準区との間に差は認められなかった。</p> <p>(4) 果実の品位は、処理間に差は認められなかった。</p> <p>(5) 樹高は樹形改造区が標準区の2/3程度で、有意差が認められた。そのため地上からの収穫割合は、樹形改造区が標準区より高く、有意差が認められた。</p> <p>(6) 1時間当たり袋かけ数、および収穫袋数は、樹形改造区の方が標準区より多い傾向にあったが有意差は認められなかった。</p> <p>(7) 樹形改造区では、1年生枝数および着房枝数が標準区より少なく、有意差が認められた。</p> <p>(8) 果実障害のへそ黒症、へそ青症、そばかす症の発生は処理による差は認められなかった。</p> <p>第1表 収 量</p> <table border="1" data-bbox="168 1706 1543 2151"> <thead> <tr> <th rowspan="2">処 理</th> <th rowspan="2">果 数</th> <th rowspan="2">重 量</th> <th rowspan="2">1果平均重</th> <th colspan="5">階 級 別 個 数 割 合 ( % )</th> <th rowspan="2">収量の伸び率</th> </tr> <tr> <th>2 L</th> <th>L</th> <th>M</th> <th>S</th> <th>格 下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹形改造</td> <td>917</td> <td>34.3 kg</td> <td>37.4 g</td> <td>2</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>208 %</td> </tr> <tr> <td>標 準</td> <td>1414</td> <td>56.9</td> <td>40.2</td> <td>6</td> <td>48</td> <td>36</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>248</td> </tr> <tr> <td>有 意 性</td> <td>NS</td> <td>NS</td> <td>NS</td> <td>NS</td> <td>NS</td> <td>NS</td> <td>※※</td> <td>NS</td> <td>NS</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 収量の伸び率……昭和46～50年の5ヶ年の平均収量を100として</p>	処 理	果 数	重 量	1果平均重	階 級 別 個 数 割 合 ( % )					収量の伸び率	2 L	L	M	S	格 下	樹形改造	917	34.3 kg	37.4 g	2	40	40	12	6	208 %	標 準	1414	56.9	40.2	6	48	36	5	5	248	有 意 性	NS	NS	NS	NS	NS	NS	※※	NS	NS
処 理	果 数					重 量	1果平均重	階 級 別 個 数 割 合 ( % )					収量の伸び率																																	
		2 L	L	M	S			格 下																																						
樹形改造	917	34.3 kg	37.4 g	2	40	40	12	6	208 %																																					
標 準	1414	56.9	40.2	6	48	36	5	5	248																																					
有 意 性	NS	NS	NS	NS	NS	NS	※※	NS	NS																																					

第2表 収量の年次変化

(kg)

処 理	5 1	5 2	5 3	5 4	5 5	5 6	5 7年	平 均
樹形改造	3 0	7	1 5	3 0	2 6	4	3 4	2 1
標 準	5 2	1 1	2 8	6 9	4 9	6	5 7	3 9
有 意 性	***							

第3表 1果平均重の年次変化

(g)

処 理	5 1	5 2	5 3	5 4	5 5	5 6	5 7年	平 均
樹形改造	3 9	3 6	3 1	3 6	3 1	3 5	3 7	3 5
標 準	4 2	3 8	2 9	3 7	3 1	3 8	4 0	3 6
有 意 性	NS							

第4表 果実の品位

(%)

処 理	秀	優	格 外
樹形改造	7 9.0	1 1.3	9.7
標 準	7 8.2	1 1.4	1 0.4
有 意 性	NS	NS	NS

第5表 樹体の状況

処 理	樹 高	樹 冠 径	
		東 西	南 北
	cm	cm	cm
樹形改造	3 2 0	4 5 0	5 4 0
標 準	5 0 0	4 7 0	5 7 0
有 意 性	※	NS	NS

第6表 作業能率

処 理	1時間当たり作業量		地上からの 収 穫 割 合
	袋かけ数	収穫袋数	
	枚	枚	%
樹形改造	6 8	4 6 7	7 5
標 準	5 2	3 9 2	4 0
有 意 性	NS	NS	***

第7表 1年枝の状況

処 理	1年生枝数	着房枝数	着房率
			%
樹形改造	8 5 5	4 7 0	5 5.0
標 準	1,4 9 0	8 6 6	5 8.1
有 意 性	※	※	NS

第8表 果実障害の発生割合 (%)

処 理	へそ黒症	へそ青症	そばかす症
樹形改造	1 0.7	1 2.9	6.3
標 準	1 1.1	8.6	6.1
有 意 性	NS	NS	NS

成  
績  
概  
要そ  
の  
他

昭和57年度長崎県果樹試験場成績